

四半期報告書

(第64期第1四半期)

北興化学工業株式会社

東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号

(E01001)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	15

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年4月9日

【四半期会計期間】 第64期第1四半期(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

【会社名】 北興化学工業株式会社

【英訳名】 HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中島 喜勝

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号

【電話番号】 03(3279)5151(代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員経理部長 渡辺 英夫

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号

【電話番号】 03(3279)5152(経理部)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員経理部長 渡辺 英夫

【縦覧に供する場所】 北興化学工業株式会社名古屋支店
(名古屋市東区東桜一丁目10番37号)
北興化学工業株式会社大阪支店
(大阪市中央区本町三丁目4番10号)
北興化学工業株式会社岡山支店
(岡山市北区磨屋町9番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第1四半期連結 累計期間	第64期 第1四半期連結 累計期間	第63期
会計期間	自 平成23年 12月1日 至 平成24年 2月29日	自 平成24年 12月1日 至 平成25年 2月28日	自 平成23年 12月1日 至 平成24年 11月30日
売上高 (百万円)	10,576	10,336	39,880
経常利益 (百万円)	374	300	705
四半期(当期)純利益 (百万円)	60	146	142
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	243	601	291
純資産額 (百万円)	13,366	13,792	13,302
総資産額 (百万円)	45,690	44,167	41,750
1株当たり四半期(当 期)純利益金額 (円)	2.18	5.30	5.14
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	29.3	31.2	31.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

提出会社

契約締結先	契約内容	契約締結年月日	有効期間
全国農業協同組合連合会	平成25年度の農薬の売買価格等を定めた契約	平成24年12月26日	平成24年12月1日から平成25年11月30日出荷分とする。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出に弱さが残るものの鉱工業生産の上昇や個人消費が底堅く推移したことなどから、持ち直しの動きが見られました。また、政府が掲げる積極的な経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇が進んだことによる消費者マインドの改善も景気の下支えとなりました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な販売に努めましたが、農薬事業における水稻除草剤の販売不振やファインケミカル事業における国内需要の低迷の影響などにより、全体の売上高は103億3千6百万円（前年同期比2億4千万円の減少、同2.3%減）となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、1億9千3百万円（前年同期比2億4百万円の減少、同51.4%減）となり、経常利益は、3億円（前年同期比7千5百万円の減少、同19.9%減）となりました。

四半期純利益につきましては、法人税等の減少により1億4千6百万円（前年同期比8千6百万円の増加、同143.6%増）となりました。

報告セグメント別の概況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬製品の国内販売は、園芸用殺菌剤が伸長しましたが、水稻用除草剤の販売不振の影響により減収となりました。利益面では製造コストの削減や販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、減収による利益減を吸収できず減益となりました。この結果、本セグメントの売上高は79億5百万円（前年同期比2億7千6百万円の減少、同3.4%減）、営業利益は4億3百万円（前年同期比2千1百万円の減少、同5.0%減）となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル製品の販売は、電子材料原料や樹脂添加剤などの主力事業分野では前年同期を上回りましたが、その他の事業分野において受注が低調に推移したことから、全体では若干の増収に留まりました。利益面では子会社（張家港北興化工有限公司）の製造設備の定期修理による製造コストの増加などにより減益となりました。この結果、本セグメントの売上高は23億9千2百万円（前年同期比3千2百万円の増加、同1.3%増）、営業損失は4千2百万円（前年同期は営業利益1億3千9百万円）となりました。

（2）財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は441億6千7百万円となり、前連結会計年度末比24億1千8百万円の増加となりました。これは、農薬の需要期となる第1四半期の季節的変動による受取手形及び売掛金の増加並びに投資有価証券の時価評価による増加が主な要因です。

負債の残高は303億7千5百万円となり、前連結会計年度末比19億2千8百万円の増加となりました。これは、原材料購入等に伴う支払手形及び買掛金の増加並びに短期借入金の増加が主な要因です。

純資産の残高は137億9千2百万円となり、前連結会計年度末比4億9千万円の増加となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加が主な要因です。

（3）事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、3億6千8百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	92,000,000
計	92,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年2月28日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年4月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,985,531	29,985,531	東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 ・単元株式数 1,000株
計	29,985,531	29,985,531	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年12月1日 ～ 平成25年2月28日	—	29,985	—	3,214	—	2,608

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成24年11月30日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成24年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,396,000	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 27,223,000	27,223	同上
単元未満株式	普通株式 366,531	—	同上
発行済株式総数	29,985,531	—	—
総株主の議決権	—	27,223	—

(注)「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権の数3個)含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北興化学工業株式会社	東京都中央区日本橋本石 町四丁目4番20号	2,396,000	—	2,396,000	7.99
計	—	2,396,000	—	2,396,000	7.99

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）および第1四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098	1,275
受取手形及び売掛金	13,195	14,843
商品及び製品	9,520	9,394
仕掛品	207	262
原材料及び貯蔵品	3,712	4,071
繰延税金資産	671	442
その他	308	223
流動資産合計	28,711	30,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,654	4,639
機械装置及び運搬具（純額）	3,245	3,288
土地	777	777
その他（純額）	288	400
有形固定資産合計	8,965	9,104
無形固定資産		
ソフトウェア	20	34
その他	440	573
無形固定資産合計	460	606
投資その他の資産		
投資有価証券	2,003	2,415
繰延税金資産	1,242	1,182
その他	381	363
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	3,614	3,948
固定資産合計	13,038	13,658
資産合計	41,750	44,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,996	7,971
短期借入金	5,789	9,536
1年内返済予定の長期借入金	2,267	2,109
未払法人税等	100	51
未払費用	3,820	1,847
賞与引当金	—	199
その他	1,911	1,551
流動負債合計	20,883	23,265
固定負債		
長期借入金	3,556	3,085
退職給付引当金	3,815	3,824
資産除去債務	62	62
その他	130	139
固定負債合計	7,564	7,110
負債合計	28,447	30,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	7,983	8,019
自己株式	△995	△995
株主資本合計	12,811	12,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	691	957
繰延ヘッジ損益	9	23
為替換算調整勘定	△209	△34
その他の包括利益累計額合計	491	946
純資産合計	13,302	13,792
負債純資産合計	41,750	44,167

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	10,576	10,336
売上原価	8,186	8,192
売上総利益	2,390	2,144
販売費及び一般管理費	1,994	1,952
営業利益	396	193
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	14
為替差益	42	172
受取手数料	1	13
その他	13	12
営業外収益合計	71	212
営業外費用		
支払利息	62	52
その他	30	53
営業外費用合計	92	104
経常利益	374	300
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	17	4
その他	—	0
特別損失合計	17	4
税金等調整前四半期純利益	357	297
法人税等	297	151
少数株主損益調整前四半期純利益	60	146
四半期純利益	60	146

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	266
繰延ヘッジ損益	10	14
為替換算調整勘定	53	174
その他の包括利益合計	183	454
四半期包括利益	243	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	601
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)
減価償却費	446百万円	386百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月24日 定時株主総会	普通株式	110	4	平成23年11月30日	平成24年2月27日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	110	4	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,181	2,360	10,542	34	10,576	—	10,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	98	98	△98	—
計	8,181	2,360	10,542	133	10,674	△98	10,576
セグメント利益	425	139	563	10	573	△177	396

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△177百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△177百万円、未実現利益の調整額0百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,905	2,392	10,297	39	10,336	—	10,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	88	88	△88	—
計	7,905	2,392	10,297	127	10,424	△88	10,336
セグメント利益又は損失(△)	403	△42	362	7	369	△176	193

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△176百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△176百万円、未実現利益の調整額0百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年12月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
1 株当たり四半期純利益金額	2 円18銭	5 円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	60	146
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	60	146
普通株式の期中平均株式数(株)	27, 595, 477	27, 587, 676

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年4月9日

北興化学工業株式会社

取締役会 御中

監査法人 日本橋事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木下 雅彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小倉 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北興化学工業株式会社の平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年12月1日から平成25年2月28日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北興化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年4月9日
【会社名】	北興化学工業株式会社
【英訳名】	HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 喜勝
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
【縦覧に供する場所】	北興化学工業株式会社名古屋支店 (名古屋市東区東桜一丁目10番37号) 北興化学工業株式会社大阪支店 (大阪市中央区本町三丁目4番10号) 北興化学工業株式会社岡山支店 (岡山市北区磨屋町9番18号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 中島喜勝は、当社の第64期第1四半期(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。